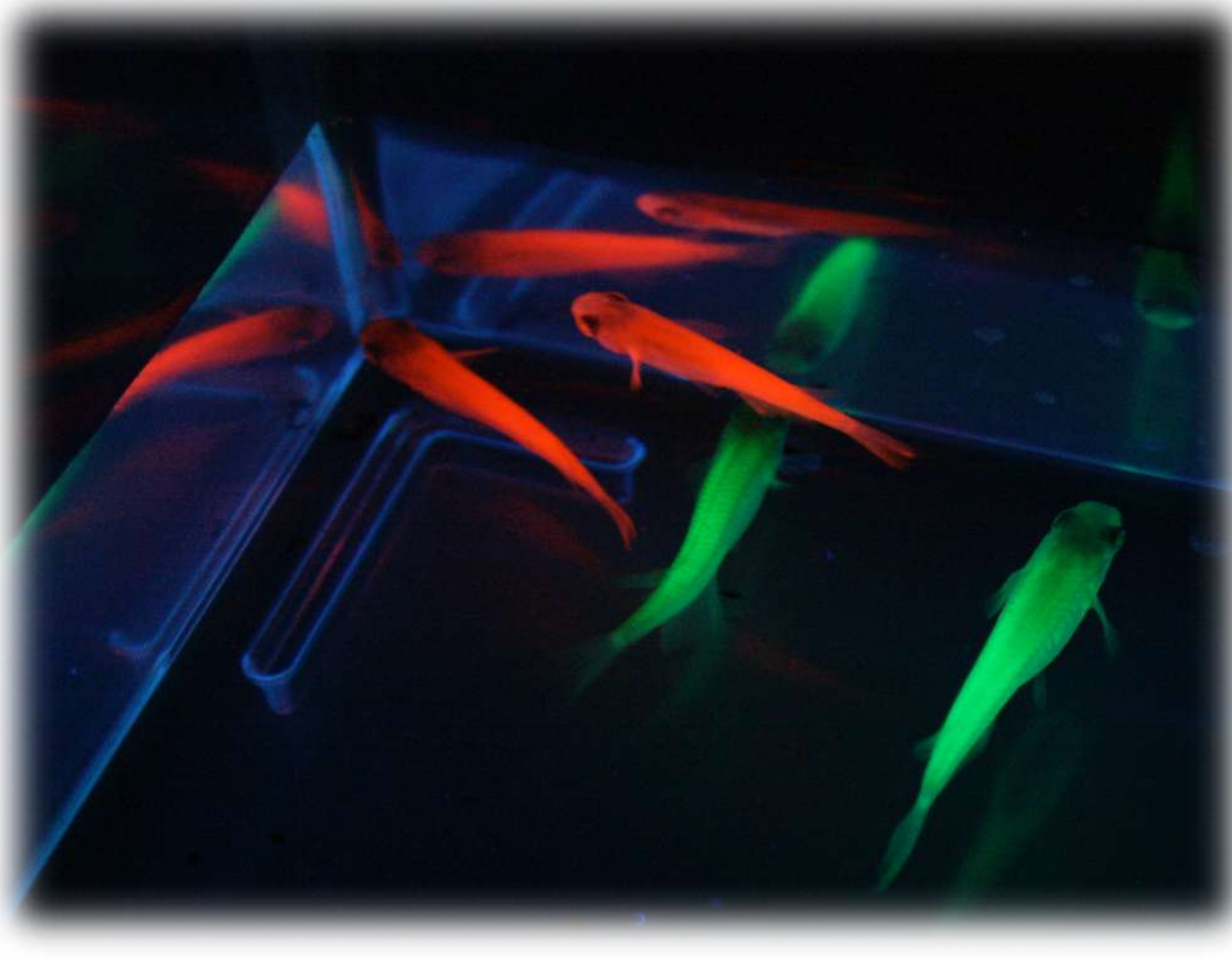
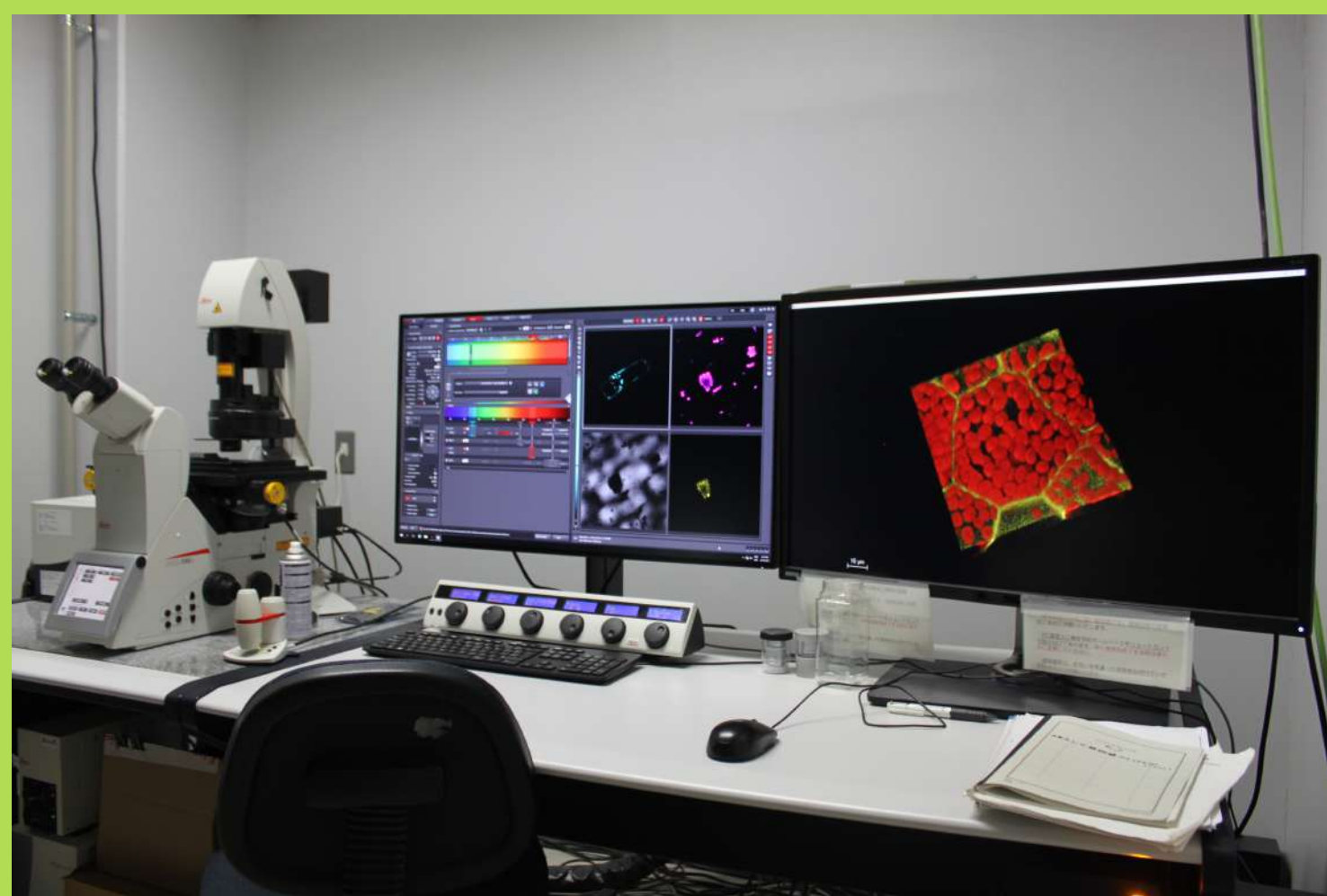


バイオサイエンス教育研究センターの事業紹介

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センターはゲノミクス研究棟・3号館A棟・環境調節実験棟の3つの建物を中核とし、本学のバイオサイエンス系分野における研究支援・研究推進・地域貢献の拠点として活動しています。



機器分析室



顕微鏡室



細胞培養室



大型機器室



動物実験室



高分子材料学実験室



メダカ飼育室



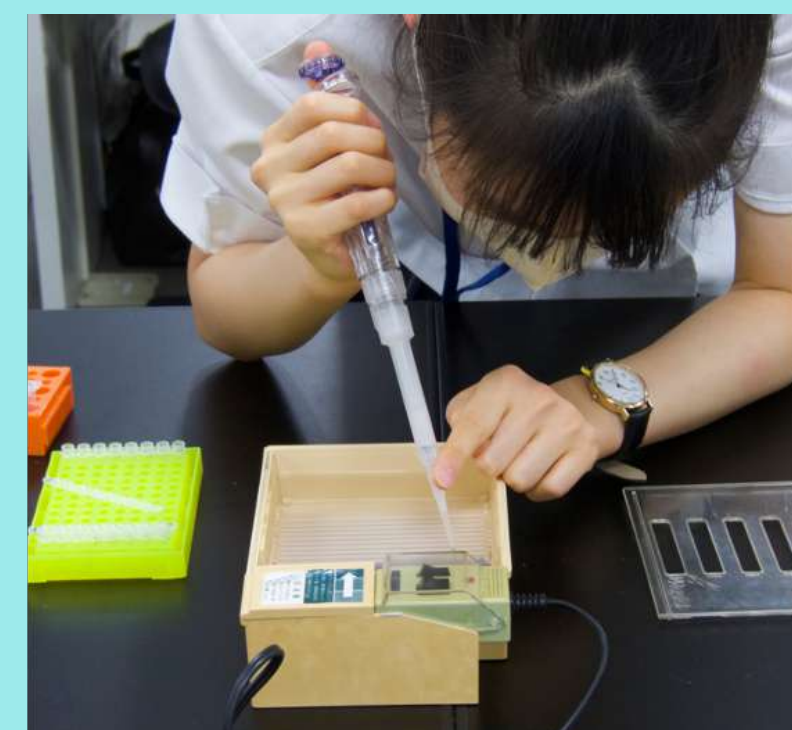
水生生物室

最先端研究を支援・推進する7つの部門

「ゲノミクス解析部門」「動物部門」「アイソトープ利用部門」「生体分子機能解析部門」「資源植物部門」「バイオリソース部門」「植物分子農学研究部門」の各部門が、遺伝子組換え実験、動植物の飼育栽培、放射性同位元素の取扱い、生体分子の化学的分析、研究用メダカリソースの提供をサポートしています。

8つの研究室に所属する専任教員と約60名の教職員学生を中心に、学部・学科を越えた200名以上の登録利用者と連携して異分野融合・共同研究を推進するとともに、上記各部門の枠におさまらない特任教員・研究員を加え、数々の特色ある研究を推進して多くの成果を発表しています。

高校生向けバイオテクノロジー体験講座



毎年、高校生を対象にバイオテクノロジー体験講座を開催しています。メダカ受精卵の顕微鏡観察、蛍光タンパク質を発現させた光る大腸菌の作製、PCR装置を使用したメダカ・ミジンコ・キノコのDNA鑑定などの実験を行い、当センターの施設見学をしています。年間200名程度の高校生が参加しています。

iP-U（宇都宮大学グローバルサイエンスキャンパス）



iP-Uは、将来、研究者やエンジニア、起業家、理数系教員などを目指す、主に高校生を対象とする科学人材育成プログラムです。

iP-Uの受講生になると、30科目以上の幅広い分野の選択科目を好きなだけ受講することができます。上の写真は、選択科目などの受講の様子です。